

**豊田工業高等専門学校の自己点検・評価
並びに運営諮問委員会報告書（No.1）**

平成28年10月

独立行政法人国立高等専門学校機構

豊田工業高等専門学校

第1回運営諮問委員会を開催して

校長 高井 吉明

豊田高専では、地域産業界の代表者、豊田市、大学などの学識者、本校同窓会会長、教育後援会会長の皆様に外部評価委員を委嘱し、2年に一度、本校の教育研究制度に関してご意見を伺う外部評価委員会を実施して参りました。この外部評価委員会は、平成26年度から運営諮問委員会へと引き継がれて、再スタートし、今回が運営諮問委員会として最初の委員会となりました。本校の外部評価という意味では、この運営諮問委員会以外に、本科と専攻科を対象に大学改革支援・学位授与機構による認証評価を7年に一度、及び本科5学科に相当する5つの専門分野の教育プログラムを対象とした、JABEE（日本科学者教育認定機構）認定を5年に一度それぞれ受審しています。

これまでの外部評価委員会では、平成17年度には教育活動と学生支援活動について、平成19年度には研究活動と公開講座について、平成21年度には高専教育の高度化、さらに平成23年度には国際交流、キャリア教育支援室の運営、ものづくり一気通観エンジニアの養成について、平成25年度には産学連携による人材育成事業と教育活動を通じた地域貢献、低学年における学年団再編3ヵ年の歩み、本校学寮における人間教育について、委員の皆様のご意見を伺いました。平成27年度の本運営諮問委員会では、「国際交流について」、「キャリア教育支援について」、及び「JABEE、特例適用専攻科認定及び産学官連携事業と地域貢献について」を評価課題として選び、本校の自己点検・評価並びに外部検証・外部評価報告書の他、学生便覧、豊田高専広報などの参考資料を準備して行われました。本運営諮問委員会では、豊田市副市長 幸村的美様、豊田市立小中学校長会会長 藤井憩様、名古屋大学大学院工学研究科長 新美智秀様、小島プレス工業株式会社 専務取締役 鈴木司様、本校同窓会長 中山憲和様、教育後援会長 鈴木律様に委員をお願いしました。本校は、昭和38年の創立以来、地域の産業界との密接な連携により、当初は実践的技術者の養成に尽力して参りましたが、最近ではグローバル化など産業界の構造変化に伴う高専生の活躍の場が変化しており、高専生には実践力だけでなく、創造力、リーダーシップ、国際性など高度な技術者に要求される資質が求められています。

また、文部科学省により新たに設置された、実践的職業教育を念頭においた新たな高等教育機関の制度化に関する特別部会での検討とともに、高専を考える議員連盟などによって高専の在り方についても提言がまとめられ、高専が高く評価されているところですが、高専も全国にありますのでその立地によって特色をもった活動も必要となります。本校は、豊田市というものづくりの集積地にあるメリットを最大限に発揮すべく地域産業界との連携だけでなく、一般市民をも対象とした地域連携・地域貢献を通じて、その地域で期待される存在となるべく活動しています。

このような高専を取り巻く環境の変化に応じて、今回の「国際交流について」では、異

文化理解を学びグローバルに活躍できる人材の育成に関する取り組み、「キャリア教育支援について」では、本科1年生から5年生までの年齢に応じたプログラムの実施による卒業後の進路への動機付等、そして「J A B E E，特例適用専攻科認定及び産学官連携事業と地域貢献について」では、全国51校55キャンパスの国立高専でトップレベルの外部資金獲得、多様な人材育成、新たな専攻科修了生学士号取得の道及び地域貢献活動について報告を行いました。これに対して、各委員から、本校で行っている多くの学生が出かける長期海外留学、1年生から実施されているキャリア教育プログラムに加えて、地域と密接にかかわった多様な人材育成などの教育活動、及び地域貢献に対して、現在の活動状況を今後も継続し、存分にその使命を発揮することを期待されるとともに、その頑張りに労いの言葉をいただくありがたい評価を頂きました。

運営諮問委員会となって初の委員会を、1月の多忙な時期に各委員の皆様にご出席頂き、本校の活動に関して貴重なご意見を数多く頂きました。頂いたご意見を本校の運営に反映させ、益々本校の発展に繋げていく所存ですので、宜しくご支援賜りますようお願い申し上げます。

.....	1
.....	5
.....	55
.....	66
.....	68
.....	70
.....	71
.....	72

第1部

自己点検・評価

豊田高専の持続可能な異文化理解・国際理解活動

国際交流委員会委員長 電気・電子システム工学科 吉岡貴芳

24

26

27

1. 豊田から世界へ（留学へ行く学生）

概要：1年間の長期海外留学

AFS YFU

40

2

3

1

1

海外留学の目的・意義

AFS YFU

現況

AFS・YFUによる長期留学実績（昭和57年～平成26年9月まで）留学者数：651名，派遣国：37ヶ国

	(278)	(82)	(47)	(23)	(18)	
(15)	(12)	(14)	(12)	(12)	(11)	
	(10)	(9)	(8)	(8)	(8)	
(8)	(8)	(7)	(5)	(5)	(5)	
(4)	(4)	(5)	(4)	(4)	(3)	
(2)	(3)	(3)	(3)	(3)	(2)	(2)
(2)	(1)					

近年 5 年間の長期留学実績

AFS・YFU による 1 年間の長期留学

27	28	32	2	3	1
26	27	38			
25	26	53			
24	25	27			
23	24	37			

ドイツ国立アーヘン大学フレッシュマンプログラム 1 年間の長期留学

・ 24 1 25 1 4

ロータリー財団による 1 年間の長期留学

25 2 2

その他短期留学

豊田市派遣イングランド・ダービシャー市英語研修（2 週間）

&* % &+ % &

高専機構等主催海外企業インターンシップ等（4 週間）

& % &* % &+ &

富山高専主催北アイルランド South Eastern Regional College 英語研修（4 週間）

&* % &+ & %

官民協働海外留学支援制度 トビタテ！留学 JAPAN 奨学金による短期留学（7 週間）

&+ % % 「ロボカップ

である Skuba とのロボット制御技術に関する共同研究」

自己評価

(1) 40 30 2 3

10 か国へ 1 年間の長期留学をしている。これは、1 クラス 40 人の学生のうち、第3 学年までに 1/5 の約 8 人が海外留学していることに相当しており、一部の大学を除いて全国随一である。また、AFS・YFU 以外による留学も数名であるが増えており、短期留学も含め全体的に留学者数は増加している。

(2) 1 年間の長期留学では、1 年間の休学のみで（6 年で）豊田高専を卒業できるよう、派遣国の学暦に合わせた教務上の配慮を行っている。具体的には、夏休み前後に留学へ出発し、帰国後（1 年後）に 1 年前の成績を引継ぎ 9 月に前学期定期試験を受けることができる。さらに平成 27 年度は、前学期定期試験が 7 月下旬に行われたため、前学期定期試験を受験した後に、留学に出発できるようになった。

- (3) 2 10 までに制限しているが、これまでに概ね問題はない（受験許可者数は合格者数と同等ではない）。なお、受験申請者数は制限していない。
- (4) 近年留学人数の増加に伴い、第 1 学年で留学受験に合格し、第 2 学年で留学をする学生の中には（受験時にはわからなかったが）学業成績が不振であったり、生活習慣が安定していなかったりする者もあり、担任の指導の限界も垣間見えてきた（第 2 学年で受験する場合は、学業成績による選抜を行っている）。そのため、平成 28 年度からは第 1 学年での留学受験許可者数を学科ごとに 3 名までに制限し、複数の教員による面談等の受験許可前の審査を行うことを検討している。
- (5) 留学前後の精神的に不安定な状況を考慮し、平成 27 年7月に行った留学前オリエンテーションでは、留学経験のある卒業生（平成 17 年度 AFS オーストラリア派遣 秋松龍之介氏）による学生に向け講演会を行った。留学帰国後には、国際交流委員長から、学生自身が留学先の国の良さと日本の良さの両方を客観的に見られるようにとの、アドバイスをを行っている。
- (6) 留学には行きたいが、1 年間休学することに躊躇している学生のために、2 週間～2 か月程度の短期留学を奨励し、トビタテ！留学 JAPAN 奨学金を紹介し 1 名に海外留学を体験させた。

2. 世界から豊田へ（海外からの外国人留学生等）

概要

現況

近年 6 年間の外国人留学生の出身国（平成 22 年～平成 27 年まで）留学者数：24 名、
出身国：7 ヶ国

マレーシア(11)、モンゴル(4)、ラオス(3)、カンボジア(2)、ベトナム(2)、
スリランカ(1)、バングラデシュ(1)

学生数の経年変化

平成 22 年 11 名、平成 23 年 8 名、平成 24 年 8 名、平成 25 年 5 名、
平成 26 年 6 名、平成 27 年 9 名

外国人留学生および、学生生活

毎年、文部科学省国費や、マレーシア政府派遣による外国人留学生が、本校の第 3 学年に編入し、寮生活をしながら、専攻する専門科目を日本人学生と同じ環境で学んでいる。第 3 学年の外国人留学生は、日本人チューターと同室で生活をし、日頃から日本の文化や習慣を学び取っている。マレーシア政府派遣による留学生の文化的背景はマレー系、インド系、中国系など様々である。また、ムスリムの学生のほとんどは寮の食室で自炊をしているが、寮食堂でもハラール料理を提供することは可能である。

授業科目では、外国人留学生のための日本語・日本事情という科目を国語教員が担当し、日本の文化や風習、あるいは歴史の授業を行っている。また、専門科目等で当該学年の授業時間割にないが重要な科目も特別開講や補習にて対応している。

日本についての文化や風習、あるいは歴史を実際に体験するために、年 1 回研修旅行に出かけている（平成 25 年度犬山城、平成 26 年度富士山、平成 27 年度熊野古道）。また、東南アジアからの留学生にとっては、東海地区高専外国人留学生交流会として行われるスキー実習は、日本の風土を体験させる良い機会となっている。

日本人学生との協同・協調

6

7 ド

11

2

5

国際理解・異文化理解活動

24

25

26

自己評価

- (1) 本校が受け入れた外国人留学生は、モンゴルや東南アジア出身がほとんどであり、宗教的な違いもあるが寮生活には問題がなく、学習環境にも概ね問題はない。また、学生生活での様々な交流活動によって、留学生同士あるいは日本人学生とでお互いの異文化を理解することに役立っている。
- (2) 外国人留学生の生活や学習を支援するチューター制度は機能しており、日本人のチューター自身が異文化を理解することにも役立っている。なお、授業科目において単独のチューターでは支援が不足するような場合には、チューターを追加するなど、複数のチューターで対応する配慮をしている。
- (3) 前回の報告における「豊田市内には多くの外国人が生活しており多文化共生社会となっていることを生かすため、本校の外国人留学生や海外留学経験者の知財・人材を地域社会に還元する活動を行う」という課題は、現在のところ達成できていない。
- (4) 外国人留学生の来日の主目的である勉学を妨げることなく、学内においてより多くの日本人学生と外国人留学生とが、お互いに交流をはかることができる活動を模索することを、今後の課題とする。

参考資料：YFU・AFS 海外留学帰国報告書（平成 24 年度～25 年度，平成 25 年度～26 年度）



Center for Career Education
– National Institute of Technology, Toyota College

豊田工業高等専門学校における
キャリア教育支援について

キャリア教育支援室



今、子どもたちには、
将来、社会的・職業的に自立し、
社会の中で自分の役割を果たしな
がら、
自分らしい生き方を実現するため
の力が求められています。



Promotion of Career-oriented and Vocational Education

In recent years, young people's waning enthusiasm towards work and careers, their **high turnover rates** and growing numbers of **part-timers** and those **without employment, education or training** have developed into social problems. In this climate, to ensure that children acquire **attitudes towards work and careers in keeping with their developmental stages** and are able to **carve out lives for themselves** with a **clear sense of purpose**, career-oriented and vocational education is becoming an important part of school education. For this reason, in December 2008 the Central Council for Education was consulted on the future role of career-oriented and vocational education in schools, and is currently examining the issue. MEXT plans to take into account the forthcoming results as it seeks to enhance career education.



**豊田高専では、就職・
進学率がほぼ100%**

**その中でキャリア教育に
求められることは**



- ◎ 年齢に応じた適切な学習の動機付け
- ◎ 将来に目的意識を持たせる
- ◎ 社会性を身に付けた技術者として社会に送り出す



キャリア教育支援プログラムで育成する能力とは

- ◎ 自己管理能力
自分を知る・生活習慣
- ◎ 人間関係育成・社会形成能力
コミュニケーション能力
- ◎ キャリアプランニング能力
将来の目標
自分自身のプロデュース



キャリア教育支援プログラム

キャリア教育支援室が行う行事

- ◎合宿研修
- ◎講演会
- ◎講習会
- ◎模擬面接講座



T(Toyota)-Fileとは何ですか？

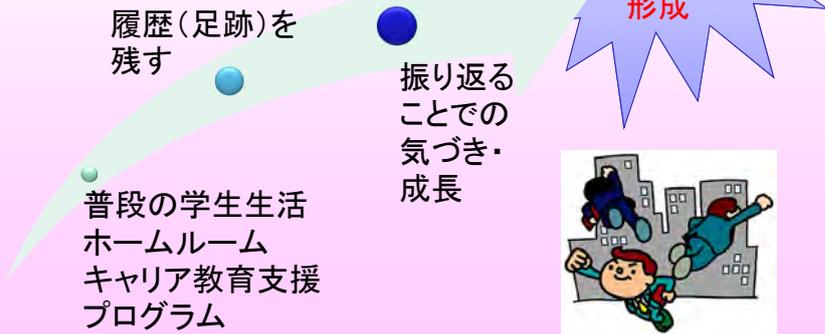
- キャリア教育支援プログラムの内容を保存するためのファイル
- その時点での自分なりの思いを記入し、保存することで、卒業までにオリジナルのファイル（ポートフォリオ）に作り上げる



T-Fileを使うと何か良いことがありますか？



豊田高専で何を学び、
経験してきたか(キャリア)を
実感できる

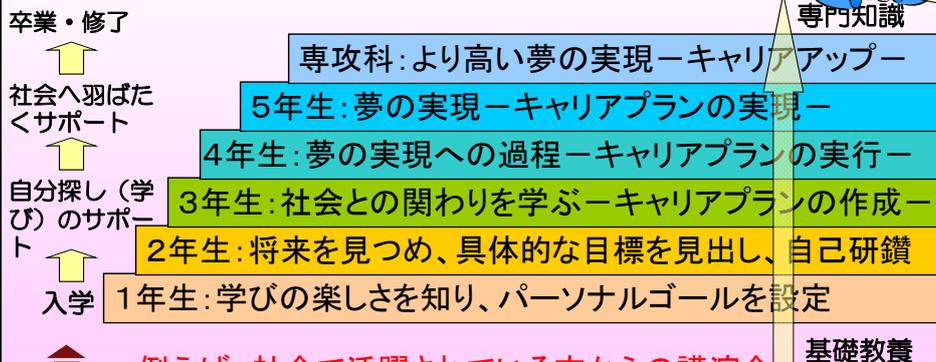


豊田工業高等専門学校・キャリア教育支援プログラム



将来の夢、その実現のためのサポート
—国際的技術者への進化を目指して—

パーソナルポートフォリオ
T-ファイルの活用



例えば、社会で活躍されている方からの講演会
自己理解や他者理解のための合宿研修
留学経験者からの「海外留学報告会」など



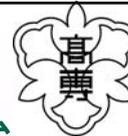
パーソナルポートフォリオ(T-ファイル) の活用

教員と保護者にとって

T-ファイルを用いた指導
確認・連携ツール



豊田工業高等専門学校・キャリア教育支援体制



学生の学校生活をサポート ← キャリア教育支援プログラム
指導教員, 教科担当教員, 課外活動等の教員, 教職員間が連携し,
主にHR・AG活動で系統立てて行う指導項目群



キャリア教育支援室：学生の現状および経年的な学生動向等を把握（分析）し、キャリア教育支援プログラムの企画、指導教員等に対し学生指導上の情報提供を行う

学生指導の質の向上 = 自主自立（律）のキャリア形成

キャリア教育支援室ウェブサイト



- 研究紹介
- 産学官連携
- 教育GP
- 戦略的大学連携
- 出前授業

一般・企業の皆様へ

- 教職員募集(情報あり)
- 公開講座の案内
- 図書館開館予定
- 多読セミナー予定
- 情報公開
- 外部評価・自己点検評価
- 企業の採用担当の方へ
- 企業のインターンシップ担当の方へ
- 各種証明書の発行(卒業生・修了生用)
- 調達情報(情報あり)

在校生の皆さんへ

- オンラインシラバス
- 事務手続窓口・連絡先
- 授業料免除・奨学金
- 進路情報
- 教育支援

リンク

豊田高専 教育後援会
Educational Association

豊田高専同窓会 Alumni

国立高等専門学校機構	一般教育(一般学科)	機械工学科	電気・電子システム工学科
情報工学科	環境都市工学科	建築学科	専攻科
JABEE教育プログラム	講義概要(シラバス)	ものづくり一気通貫エンジニア養成	学生寮
留学関係	就職・進学状況	高専制度創設50周年記念	キャリア教育支援センター
教育改善推進室	とよたイノベーションセンター	ロードマッププロジェクト	学生相談室・保健室
東海地区高専体育大会(豊田)	こよう祭	高専女大会	

▶ このほかのリンクを見る

キャリア教育支援室ウェブサイト



豊田高専 キャリア教育支援室
Wiki

タグ

編集済み 2015/03/24 16:33 江崎 慎行...

豊田高専キャリア教育支援室へようこそ！

我々は、学年ごとに目標を定めたキャリア教育支援プログラムにより学生の皆さんの学びの過程をサポートします！

キャリア教育支援室とは？

キャリア教育支援プログラム (年間予定)

T-ファイル

ホットな話題

T-ファイル ーパーソナルポートフォリオー (2015年度)
2015年6月10日 16:03

キャリア教育支援プログラム (2015年度)
2015年6月10日 15:59

今の私・卒業後の私③(7月1日)
2015年6月10日 15:58

合宿研修(6月12日～13日)
2015年6月10日 15:49

今の私・卒業後の私②(6月17日)
2015年4月23日 15:40

最近の変更

T-ファイル ーパーソナルポートフォリオー (2015年度)

キャリア教育支援室ウェブサイト



タグ hot

編集済み 2015/06/10 15:58 江崎 慎行...

今の私・卒業後の私③(7月1日)

職業をみんなで話し合おう

日程： 7月1日(水) 14:40～
場所： 各教室
目的： グループで卒業後の職業・進路について調べ、発表する
内容：
1. 職業調査発表会

→ [学年ごとのキャリア教育支援プログラム一覧へ戻る](#)

キャリア教育支援室ウェブサイト



豊田高専 キャリア教育支援室

Wiki Q 検索

タグ

編集済み 2015/03/24 16:33 江崎 慎行...

豊田高専キャリア教育支援室へようこそ！

我々は、学年ごとに目標を定めたキャリア教育支援プログラムにより学生の皆さんの学びの過程をサポートします！

[キャリア教育支援室とは？](#)

[キャリア教育支援プログラム（年間予定）](#)

[T-ファイル](#)

ホットな話題

- T-ファイル ーパーソナルポートフォリオー（2015年度）
2015年6月10日 16:03
- キャリア教育支援プログラム（2015年度）
2015年6月10日 15:59
- 今の私・卒業後の私③(7月1日)
2015年6月10日 15:58
- 合宿研修(6月12日～13日)
2015年6月10日 15:49
- 今の私・卒業後の私①(6月17日)
2015年4月23日 15:40

最近の変更

- T-ファイル ーパーソナルポートフォリオー（2015年度）

キャリア教育支援室ウェブサイト



編集済み 2015/06/10 16:03 江崎 信行...

T-ファイル —パーソナルポートフォリオ— (2015年度)



T-ファイル（パーソナルポートフォリオ）とは、みなさんのキャリア教育活動を記録するファイルです。

自らの成長を確認するために使い、教員と保護者との間でも共有します。

T-ファイルのTは、Toyota（豊田高専）の頭文字をとったものです。

[→ 2014年度（平成26年度）版はこちら](#)

ファイルの内容（共通部分）	資料	予定実施時期
表紙		
ようこそ！Tファイルへ		
キャリア教育支援について		
キャリア教育支援プログラムの概要		
キャリア教育プログラムの内容（1年）		
T-ファイルの使い方		
学生生活と活動の記録		
検定・資格チャレンジ履歴		

キャリア教育支援室ウェブサイト



我々は、学年ごとに目標を定めた
キャリア教育支援プログラムにより
学生の皆さんの学びの過程を
サポートします！

キャリア教育支援室とは？

キャリア教育支援プログラム（年間予定）

T-ファイル

スタッフ

求人情報検索システム（校内専用）

リンク

ホットな話題

T-ファイル —パーソナルポートフォリオ— (2015年度)
2015年6月10日 16:03

キャリア教育支援プログラム (2015年度)
2015年6月10日 15:59

今の私・卒業後の私③(7月1日)
2015年6月10日 15:58

合宿研修(6月12日～13日)
2015年6月10日 15:49

今の私・卒業後の私①(6月17日)
2015年4月23日 15:40

最近の変更

T-ファイル —パーソナルポートフォリオ— (2015年度)
2015年6月10日 16:03

キャリア教育支援プログラム (2015年度)
2015年6月10日 15:59

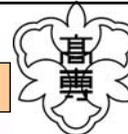
今の私・卒業後の私③(7月1日)
2015年6月10日 15:58

特別講演・社会が求める人材(5月20日)
2015年6月10日 15:55

合宿研修(6月12日～13日)
2015年6月10日 15:49



各プログラムについて



1年生： 学びの楽しさを知り、パーソナルゴールを設定

Age : 16

キャリア教育支援プログラム等	
4月	・学生心得講座 … 学生生活を送る心得を知る
5月	・将来イメージ講座 … 専門学科について知る
6月	・合宿研修 … 自分や他人を理解し、コミュニケーション能力を高める
7月	・特別講演「大切にしたい心と体」 ・学習環境確認講座 … 定期試験を前に生活を振り返る
11月	・スキルアップ講座 … 先輩の話：資格試験について知る ・学生生活振り返り講座… 1年を振り返る



キャリア教育支援室第1学年プログラム

合宿研修



合宿研修

目的

コミュニケーションスキルの基礎をつくる
◎アサーティブコミュニケーション
◎共同作業によるクラス目標の作成

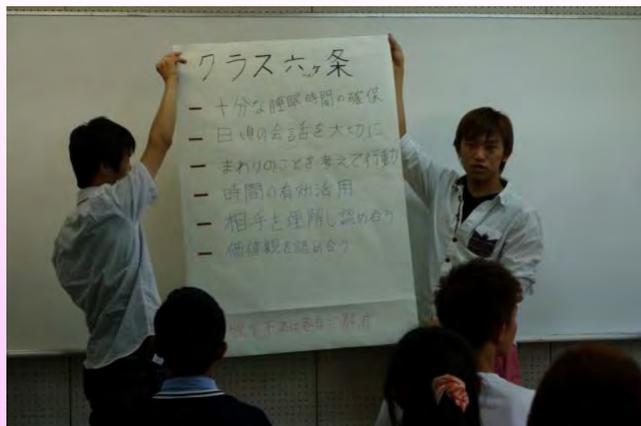
内容

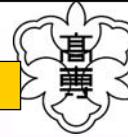
学校を離れて1泊2日の合宿を行い、共同生活の中で講演会、スポーツ活動、クラス目標の作成研修を行う

合宿研修



合宿研修





2年生： 将来を見つめ、具体的な目標を見出し、自己研鑽

Age : 17

キャリア教育支援プログラム等	
4月	・目標設定・確認講座 …… 1年次を振り返り、目標を立てる ・特別講演 …… インターネットの危険
6月	・今の私・卒業後の私① …… 先輩の話を聞き、将来をイメージ
11月	・人間力講演会 …… 社会人の方の講話
12月	・国際理解・異文化理解講座 …… 外国人留学生の母国紹介
1月	・今の私・卒業後の私② …… 職業興味調査



キャリア教育支援室第2学年プログラム

今の私・卒業後の私①

先輩の話を聞いてみよう

今の私・卒業後の私①



目的

◎就職活動を終えた先輩の話を聞き、自らの将来を考えていくきっかけをつくる

◎進路状況の紹介、能力検定、資格の提示をして目標設定の助けとする

内容

各クラスルームで先生と先輩の話を聞く

今の私・卒業後の私①



今の私・卒業後の私①



今の私・卒業後の私①





キャリア教育支援室第2学年プログラム

今の私・卒業後の私②

職業興味調査



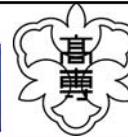
今の私・卒業後の私②

目的

◎職業興味調査

◎自分がどんな職業に興味があるかを知る

今の私・卒業後の私②



VPI職業興味検査[第3版]
原著者/J.L.HOLLAND 日本版作成/独立行政法人労働政策研究・研修機構

1. ジャーナリスト	Y	N	41. 大工	Y	N	81. 無線技師
2. 私立探偵	Y	N	42. 臨床検査技師	Y	N	82. 研究所所長
3. レストラン従業員	Y	N	43. 文筆家	Y	N	83. イラストレーター
4. シナリオライター	Y	N	44. 言語治療士	Y	N	84. 臨床心理学者
5. 小売店員	Y	N	45. 知事	Y	N	85. レストラン支配人
6. 学校事務員	Y	N	46. 公認会計士	Y	N	86. 税理士
7. 写真家	Y	N	47. 消防士	Y	N	87. オートバイ・レーサー
8. ユーモア作家	Y	N	48. 経営コンサルタント	Y	N	88. 薬科技工士
9. インテリア・デザイナー	Y	N	49. 美容師	Y	N	89. 各務局長
10. 外交官	Y	N	50. 小説家	Y	N	90. 郵便配達員
11. 航空機整備員	Y	N	51. パワーショベル運転工	Y	N	91. システム・エンジニア
12. 気象学者	Y	N	52. 人類学者	Y	N	92. 科学評論家
13. 詩人	Y	N	53. 映画監督	Y	N	93. 肖像画家
14. 社会学者	Y	N	54. 結婚カウンセラー	Y	N	94. 社会科教師
15. キャスター	Y	N	55. テレビ・プロデューサー	Y	N	95. 司会者
16. 簿記事務員	Y	N	56. 経理事務員	Y	N	96. 公務員
17. 潜水士	Y	N	57. 動物調教師	Y	N	97. 花火師

今の私・卒業後の私②





3年生：社会との関わりを学ぶーキャリアプランの作成ー

Age : 18

	キャリア教育支援プログラム等
4月	・目標設定・確認講座 ・・・ Tファイルを活用して履歴書を作成してみよう
5月	・特別講演 社会が求める人材
6月	・今の私・卒業後の私③ ・・・ 就職・進学先調査開始 発表は7月
11月	・同窓会主催卒業生講演会 ・・・ 卒業生の方の講話 ・キャリアプランニング ・・・ 卒業生の話聴講し進路を考える
10月	・社会における人間関係講演会 ・・・ 各種ハラスメントについて
1月	・進路選択講座 ・・・ 社会が求める人材 先輩達の就職先・進学先について



キャリア教育支援室第3学年プログラム

今の私・卒業後の私③

進路先調査 & 発表

今の私・卒業後の私③



目的

◎進路先調査

◎卒業後の進路について詳しく調べて、クラスの中で発表することで、

◎進路についてしっかり意識して知識を得る

◎発表スキルを身につける



今の私・卒業後の私③



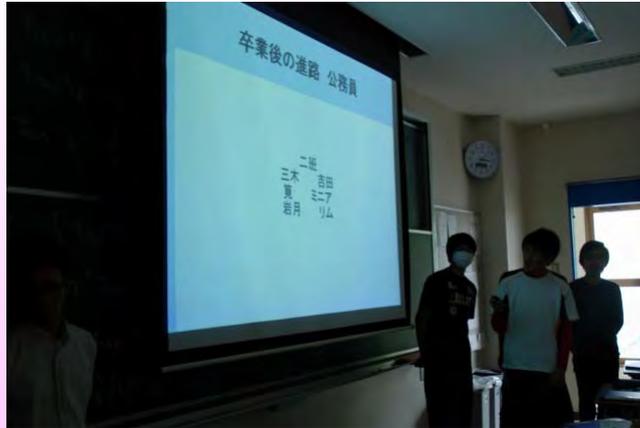
今の私・卒業後の私③



今の私・卒業後の私③



今の私・卒業後の私③



今の私・卒業後の私③





キャリア教育支援室第3学年プログラム

キャリアプランニング1



キャリアプランニング1

目的

◎自分の理想像を明確に意識する

◎過去から現在までを振り返り、自分の価値観を確認する

◎理想像に近づくための戦略を考える





4年生：夢の実現への過程ーキャリアプランの実行ー

Age : 19

キャリア教育支援プログラム等	
4月	・目標設定・確認講座 …… 振り返りと目標の確認
7月	・ビジネスマナー講演会 …… 校外実習に向けての「ビジネスマナー」全体講習会(外部講師)
9・10月	・校外実習報告会
11月	・同窓会主催卒業生講演会 …… 卒業生の方の講話 ・キャリアプランニング …… 卒業生の話聴講し進路を考える
12月	・企業へのエントリー講座 …… 「履歴書の書き方」全体講習会
1月	・企業へのエントリー講座 …… 「履歴書の作成と添削」希望制 …… 同窓会主催 「模擬面接」 …… 「メイクとヘアスタイル」 ・SPIガイダンス
3月	・同窓生による模擬面接講座 …… 卒業生が面接官となり 模擬面接を行う

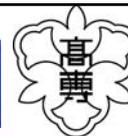


キャリア教育支援室第4学年プログラム

ビジネスマナー講座



ビジネスマナー講座



目的

◎ インターンシップ前に社会人としてのマナーを身につける

内容

- ◎ 挨拶, お辞儀, 言葉遣い
- ◎ 名刺の受け渡し
- ◎ 電話, 手紙でのコミュニケーション
- ◎ 外部委託

ビジネスマナー講座



ビジネスマナー講座



ビジネスマナー講座





キャリア教育支援室第4学年プログラム

女子学生ビューティーア ップ講座



女子学生ビューティーア ップ講座

目的

◎男子学生が多い高専女子学生のメイク
アップ講座

- ◎スーツの着方
- ◎ヘアスタイル
- ◎スキンケア
- ◎外部委託(資生堂)



女子学生ビューティーアップ講座



資生堂スタッフが基本的なスキンケアと新社会人としてふさわしい好感のもとれるメーキャップのポイント美しい立ち居振る舞いまでをトータルにご紹介します。

● Contents

- 1 お手入れの基本
スキンケアの使用方法
- 2 肌ベースメイク ~透明感のあるナチュラルな美肌の作り方~
紫外線から肌を守る
メイクの8割が肌作りで決まる
- 3 表情をさかせる ~好印象を与えるポイントメイク~
自己流メイクの見直し (眉・アイメイク・リップメイク)



開催日時 2014年1月21日(火) 午後4時30分~18時

会場 多目的ホール

対象者 本科4年以上の女子学生、専攻科女子学生

費用 1,050円

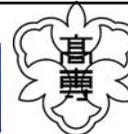
申込 12月9日(月)から16日(月)までの間に、費用とともに建築学科の三島教員か、もしくは指導教員に申し込んでください。

※※※ 当日、メイク用品は会場で準備します。
参加者は筆記用具のみ持参してください。



キャリア教育支援室プログラム

ビューティーアップ講座



ビューティーアップ講座



キャリア教育支援室第4学年プログラム



キャリアプランニング2

キャリアプランニング2



目的

◎自分の理想像を具体的に意識する

◎現在の自分にできることを客観的に考える

◎理想像に近づくための具体的な戦略を考える



キャリア教育支援室第4学年プログラム



企業へのエントリー講座



企業へのエントリー講座



目的

◎就職活動に必要な知識と心構えを知る

内容

- ◎服装
- ◎履歴書の作成のしかた
- ◎封筒の使い方
- ◎写真の撮り方
- ◎志望動機の書き方
- ◎外部委託

企業へのエントリー講座



企業へのエントリー講座



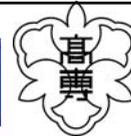
企業へのエントリー講座





キャリア教育支援室第4学年プログラム

しごとガイダンス



しごとガイダンス

目的

◎企業における仕事のイメージをつかむ

内容

◎ブースに分かれて近隣の中小企業の説明会を開く

◎教育的な見地から採用活動は行わない

しごとガイダンス



しごとガイダンス



しごとガイダンス



キャリア教育支援室第4学年プログラム

進学情報講座

就職情報講座





進学情報講座

就職情報講座

目的

◎大学等に比べて不足しがちな最新の就職・進学情報を得る

内容

◎就職はリクルート, 進学は河合塾の講師に最新情報を学生に伝えてもらう

◎高専に特化した情報の講座



進学情報講座



◎高専→大学の編入学に特化した講座

就職情報講座



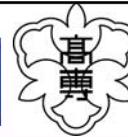
◎高専からの就職情報に特化した講座

キャリア教育支援室第4学年プログラム

履歴書作成・添削講座



履歴書作成・添削講座



目的

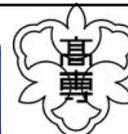
◎エントリーシートの作成援助

内容

◎事前に履歴書を作成して提出させ、添削したものをもとに当日、エントリーシートの作成を行う

◎外部委託、参加者制限有、有料講座

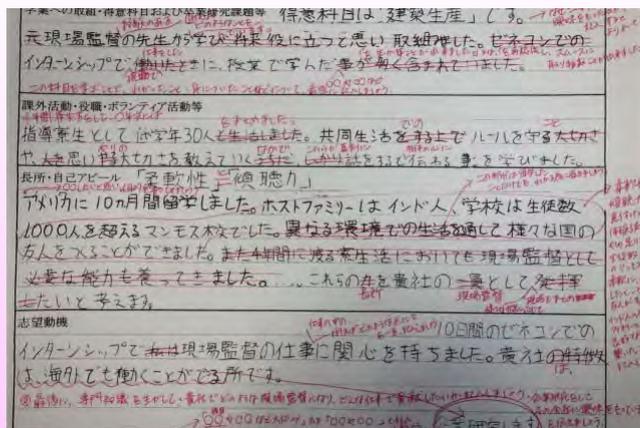
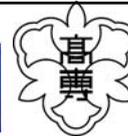
履歴書作成・添削講座



履歴書作成・添削講座



履歴書作成・添削講座





キャリア教育支援室第4学年プログラム

同窓生による模擬面接講座



同窓生による模擬面接講座

目的

◎本番の面接の緊張感と、技術者としての面接を経験する

内容

◎企業で重役を担っている卒業生に面接官をしていただき、模擬面接を行う
◎学生は面接時の服装で、面接時の手順を踏んで臨み、模擬面接後には、面接官役の同窓生と意見交換を行う

同窓生による模擬面接講座



同窓生による模擬面接講座



同窓生による模擬面接講座



同窓生による模擬面接講座



同窓生による模擬面接講座



同窓生による模擬面接講座



同窓生による模擬面接講座



キャリア教育支援室第4学年プログラム



模擬面接講座

模擬面接講座



目的

◎面接時の立ち居振る舞い, グループ面接の対策

内容

◎面接時の声の出し方, 姿勢など. 印象をよくするには.

◎外部委託, 参加者制限有, 有料講座

模擬面接講座



模擬面接講座



5年生：夢の実現ーキャリアプランの実現ー

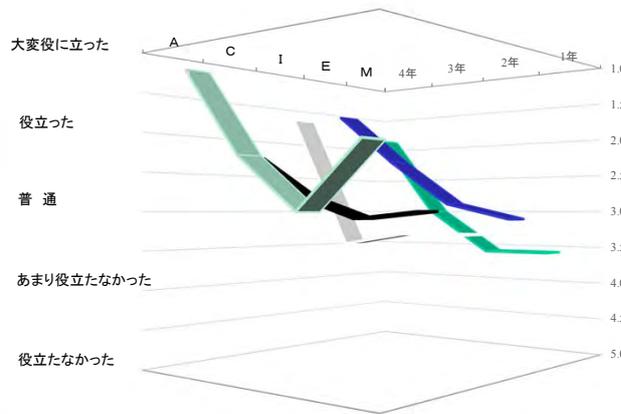


Age : 20

	キャリア教育支援プログラム等
9月以降	<ul style="list-style-type: none">・社会人準備講演会 … 「はたらく自分を想像しよう」(外部講師)・キャリアプランニング … 社会人準備講演会を聴講し、社会での働き方を考える・特別講演会 … 「労働法について」(外部講師)
その他	<ul style="list-style-type: none">・裁判所見学会(クラス別)・卒業研究発表会(中間発表, 最終発表)



キャリア教育支援プログラム5学年アンケート



専攻科： より高い夢の実現ーキャリアアップー

Age : 21-22



	キャリア教育支援プログラム等
11月	・同窓会主催卒業生講演会 … 卒業生の方の講話
12月	・企業へのエントリー講座 … 「履歴書の書き方」全体講習会
1月	・企業へのエントリー講座 … 「履歴書の作成と添削」希望制 … 同窓会主催「模擬面接」 … 「メイクとヘアスタイル」 ・SPIガイダンス
その他	・インターンシップ(希望者) ・インターンシップ報告会(実施者) ・特別研究報告会(中間発表, 最終発表) ・学会での研究発表



本校における取り組み経過紹介

豊田工業高等専門学校
キャリア教育支援室

高専におけるキャリア支援の必要性



学生の状況

- ・様々な情報が満ち溢れ、価値観や人生観が多様化
- ・就職、大学編入枠の拡大や専攻科への進学

➡ 進路が多様化している

中学校を卒業した学生に適切な学習の動機付けを行い、目的意識を持たせた学生生活を送らせ、先端技術を身につけるとともに、幅広い教養や社会性を身につけ、いわゆるコンピテンシー*を有する技術者として社会に送り出すことが求められている

*「高い業績をコンスタントに示している人の行動の仕方などに見られる行動特性」と定義されている「親密性」「傾聴力」「ムードメーカー」「計数処理能力」「論理思考」などから構成され、具体的な行動で評価するため、評価と会社への貢献度がリンクし易くなっている

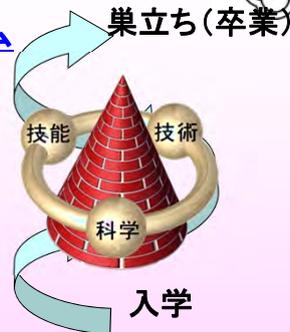
高専におけるキャリア支援の必要性



高専におけるらせん型の教育システム

若年齢から専門技術に関する知識などを教授するシステムは確立している

しかし、教養や社会性を育てるシステムの確立が不十分であると指摘



キャリア形成上の問題

専門的な学業に専念できる半面、専門分野への学習に不適合を来す学生が少数ではあるが存在している

将来に対して明確な目的意識を持つことができなくなり、「**目的意識喪失による中だるみ**」やひいては「**進路そのものを考えない学生が現れている**」などの問題が起こっている

高専におけるキャリア支援の必要性



今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)2011年1月31日 中央教育審議会

(資料)

大学設置基準及び短期大学設置基準の改正について
学生の資質能力に対する社会からの要請、学生の多様化に伴う卒業後の職業生活等への移行支援の必要性等を踏まえ、大学は、生涯を通じた持続的な就業力の育成を目指し、**教育課程の内外を通じて社会的・職業的自立に向けた指導等に取り組むこと、また、そのための体制を整えることが必要である。**

高専におけるキャリア支援の必要性

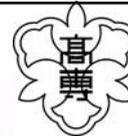


大学設置基準及び短期大学設置基準の改正について
(平成2011年4月)

【大学における社会的・職業的自立に関する指導等
(キャリアガイダンス)の法令上の明確化】

大学は、当該大学及び学部等の教育上の目的に応じ、
学生が卒業後自らの資質を向上させ、**社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を、教育課程の実施及び厚生補導を通じて培うことができるよう、大学内の組織間の有機的な連携を図り、適切な体制を整えるものとする。**

豊田高専での取り組み



- 教育改善推進室 → 授業評価、授業改善の試み等
学習意欲を高めるためには、教員のアクションだけでなく、低学年からの学習の動機づけ、基本的な生活習慣、学習指導等が大切
- 中教審におけるキャリア教育の審議
キャリア教育支援の芽生え
- 将来構想企画室の設置(平成2007年設置、現在は消滅)
豊田高専の中長期的な問題について検討
その中で、上記のことからキャリア教育が必要
アクションを起こす機会
- 平成2009年12月 キャリア支援準備室の設置
メンバー、将来構想企画室員が兼務
豊田高専におけるキャリア教育の現状と検討の開始
時間をかけて、教員のコンセンサスを図る
現状調査、教職員アンケート

豊田高専の取り組み



- 2010年1月 キャリア支援プログラムWGの設置(学内公募)
豊田高専におけるキャリア支援内容の検討

幅広く意見を聞く、若手教員の学生指導への意気込み

- 2010年8月 FDセミナー

学生の学習意欲や社会性を育むことを目的とするキャリア教育のための方策(キャリア支援プログラムWGで検討内容)についての意見交換

まとめたものに対して幅広く意見を聞く機会を設ける

- 2010年6月 キャリア支援特別講演会

- 2010年9月 豊田高専における学生指導とキャリア支援に関する答申

- 2010年11月 キャリア教育支援室の発足

豊田高専の取り組み



- 2010年11月 キャリア教育支援プログラムの検討

学内組織の変更、会議の設置
キャリア教育支援プログラム検討会議
キャリア教育支援懇談会
学年主任(1, 2年生)の配置

多くの教員からの意見を反映する仕組み、実施に対する組織

- 2011年4月 キャリア教育支援プログラムのスタート

- 2011年～2015年

学内各所の意見を聴取し、実施時期などを修正しながらプログラムを継続

「J A B E E」，「特例適用専攻科認定」及び
「産学官連携事業と地域貢献」について

1. JABEE 認定継続審査

JABEE

JABEE

JABEE

128 27 6 8

JABEE

JABEE

		2005
		2004
		2005
		2004
		2006

JABEE

	4
	4
	2
	3
	9
	4
	42
	3
	1
	1

大学その他の教育機関における課程		修了年月	技術部門
大学その他の教育機関	課 程		
豊田工業高等専門学校	専攻科電子機械工学専攻電気・電子システム工学プログラム	平成17年3月	電気電子部門
	専攻科建設工学専攻環境都市工学プログラム		建設部門
	専攻科電子機械工学専攻機械工学プログラム	平成18年3月	機械部門
	専攻科情報科学専攻情報科学		情報工学部門
	専攻科建設工学専攻建築学プログラム		建設部門
平成19年3月	建設部門		
鈴鹿工業高等専門学校	専攻科複合型生産システム工学	平成16年3月	応用理学部門
舞鶴工業高等専門学校	専攻科生産・情報基礎工学	平成17年3月	応用理学部門
明石工業高等専門学校	専攻科共生システム工学	平成16年3月	応用理学部門
奈良工業高等専門学校	専攻科システム創成工学	平成18年3月	応用理学部門
和歌山工業高等専門学校	専攻科地域環境デザイン工学	平成19年3月	応用理学部門

JABEE

%% , %\$

JABEE

2. 特例適用専攻科認定

(23

1 31)

%

&

' "

2014

2016

%

' "

) "

* "

· f%L

· f&L

+ "

- "

&

("

, "

%\$

%&

3. 産学官連携事業と地域貢献

3.1 外部資金獲得状況

外部資金獲得状況
 2012年度
 外部資金獲得総額
 うち、競争的資金
 うち、競争的資金以外
 うち、競争的資金以外
 うち、競争的資金以外
 うち、競争的資金以外

外部資金獲得総額
 うち、競争的資金
 うち、競争的資金以外
 うち、競争的資金以外
 うち、競争的資金以外

))

3.2 とよたイノベーションセンター

2012 6

相談件数 ()
 相談件数 ()
 相談件数 ()

夜間開講の社会人向け講座
 3 3 %

&

	&	%	
	%	%	
	&	&	
	%		
	%		
	, *		



f) 昼間開講の社会人向け講座

f) 日

&

	% 3 # 3	&	
	% 3 # 3 3 7 # 3 1	%	

f) 夜間開講の現場リーダー養成講座

&

	2	6	3	# 3 2
				%%

f*L 各種セミナー

&

	%*
	&
	&
	+
	%
	&



3.3 産学官連携教育

(1) ものづくり一気通観エンジニアの養成プロジェクト

「一気通観」

「一気通観」

「一気通観」

「一気通観」

「一気通観」

「一気通観」

「一気通観」



(2) 家づくりプロジェクト

(3) 多世代交流による山間部の活性化「ドミタウン・プロジェクト」

○ Q, & !& %

○ Q, & !&* %



(4) 小型家電リサイクル啓発事業

&&



(5) 「小島プレス工業株式会社」との連携協定に基づく産学連携講座

-%

(6) 愛知銀行との連携事業「こども科学教室」

-% & fl L



(7) 「とよた高専おもしろ科学教室」(科研費)

-% %& fl L

)&



(8) 豊田市の科学技術啓発事業「とよたサイエンスクラブ」

-% &S fl L % %& fl L

(9) 小水力発電アイデアコンテスト

4

5

8% ~8&

8& 8%



等

第2部

第1回

運営諮問委員会 (外部検証・評価)

コウムラ マトミ	
スズキ ツカサ	
スズキ リツ	
ナカヤマ ノリカズ	
ニイミ トモヒデ	
フジイ イコウ	f1

Bc"



沿革

昭和38年4月 豊田工業高等専門学校設置
機械工学科、電気工学科、建築学科

昭和43年4月 土木工学科増設

昭和54年3月 データステーション開所

昭和58年6月 材料・構造物疲労試験センター設置

昭和62年4月 情報工学科増設

平成5年4月 土木工学科を環境都市工学科に改組

平成6年4月 専攻科設置
電子機械工学専攻、建設工学専攻、情報科学専攻

平成8年7月 データステーションをマルチメディア情報教育センターに改組

平成11年4月 電気工学科を電気・電子システム工学科に名称変更

平成14年10月 地域共同テクノセンター設置

平成16年4月 実習工場をものづくりセンターに名称変更

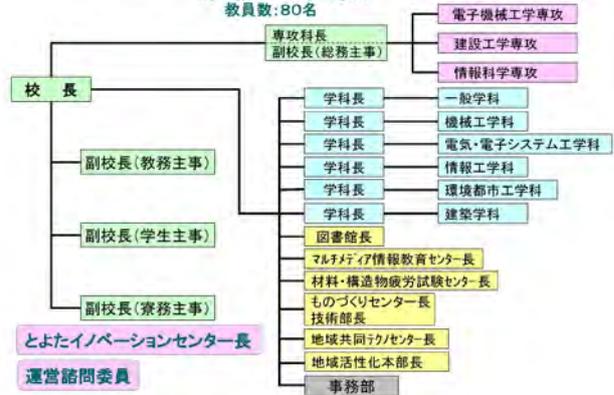
平成16年4月 独立行政法人 国立高等専門学校機構 豊田工業高等専門学校

平成24年6月 とよたイノベーションセンター設置

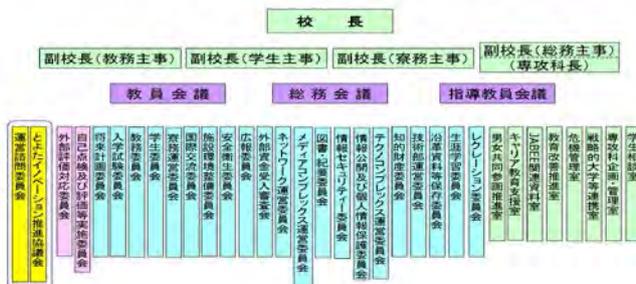
平成25年11月 創立60周年記念事業実施

本校の組織

教員数：80名



各種委員会等

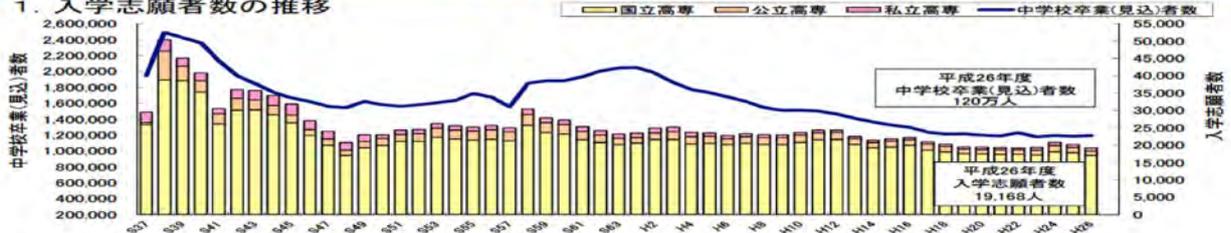


教育目標

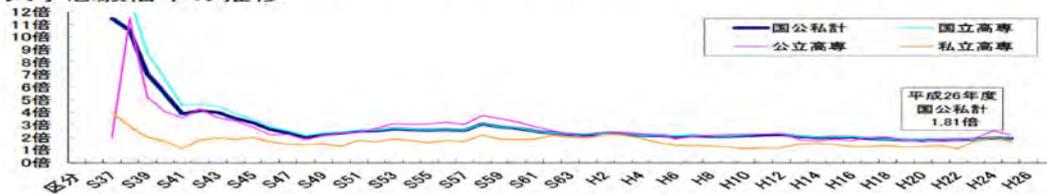
- ものづくり能力**
社会の変化と要請を的確に捉え、ものづくりを多面的に認識し、実現可能なシステムを構築できる技術者の養成
- 基礎学力**
実験・実習で培われる豊かな体験と、基礎理論の深い理解との融合から生まれるエンジニアリング基盤の確立
- 問題解決能力**
問題意識と考える力を持ち、自ら学習することによる創造力と実践力の養成
- コミュニケーション能力**
科学的な分析にもとづく論理的な記述力、明解な口頭発表能力、十分な討議能力、国際的に通用するコミュニケーション能力の修得
- 技術者倫理**
世界の文化・歴史の中で技術が自然や社会に及ぼす影響を考え、自らの責任を自覚し、誇りを持つことのできる技術者の育成

入学者の状況①

1. 入学志願者数の推移

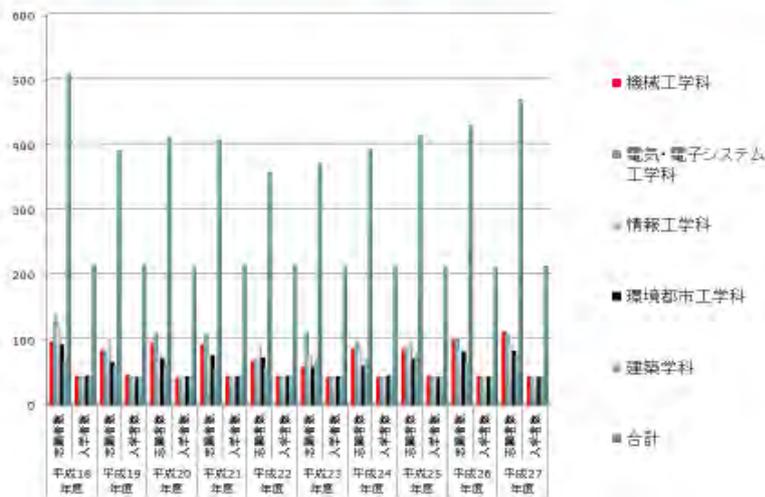


2. 入学志願倍率の推移

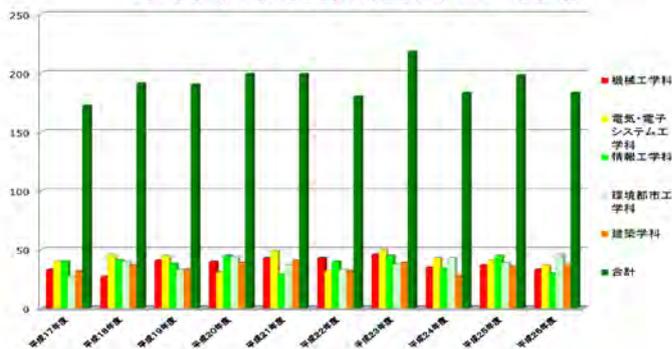


出展：平成26年度学校基本調査及び文部科学省調査

入学志願者数・入学者数(過去10年間)



本科卒業者数(過去10年間)



%

%

豊田高専の特徴

- ◆ **産学連携・技術者教育**
とよたイノベーションセンター
地域企業の技術者教育・技術相談・新技術創成
製造技術者育成プログラム・一気通観エンジニア養成プログラム
- ◆ **グローバル人材育成**
長期留学による異文化体験、コミュニケーション能力
- ◆ **学寮教育**
リーダーシップ育成、学生自ら運営、人間教育の場
- ◆ **学年団による低学年教育**
中等教育機関と高等教育機関での学生生活のギャップ
- ◆ **地域貢献・地域活性化**
生涯学習、出前講座、理科実験工作教室
都市部・中山間地における地域再生・活性化



地域貢献

■ 地域活性化推進本部

- 地域活性マイスター講座(市民講座)
地域小規模発電(座学・実習)他



水車発電

バイオマス発電

- ドミタウンプロジェクト
山村活性化・多世代交流



豊田市菰戸地区

■ 生涯学習委員会

- 出前授業
- 公開講座
- とよた高専おもしろ科学教室



世界に目を向ける豊田高専生

- 多様な異文化理解活動
- YFU-AFSによる海外留学(本科2-3年生)

年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
留学者数	40名	34名	26名	33名	38名	37名	37名	49名	50名	

留学先

アメリカ、オーストラリア、ドイツ、ベルギー、スイス、スウェーデン、イタリア、デンマーク、チェコ、フィンランド、ノルウェー、ハンガリー、ポルトガル、スペイン、ニュージーランド、香港、中国、マレーシア、インドネシア、フィリピン、タイ、ブラジル、メキシコ、アルゼンチン、エクアドル、パナマ、チリ、ホンジュラス、コスタリカ

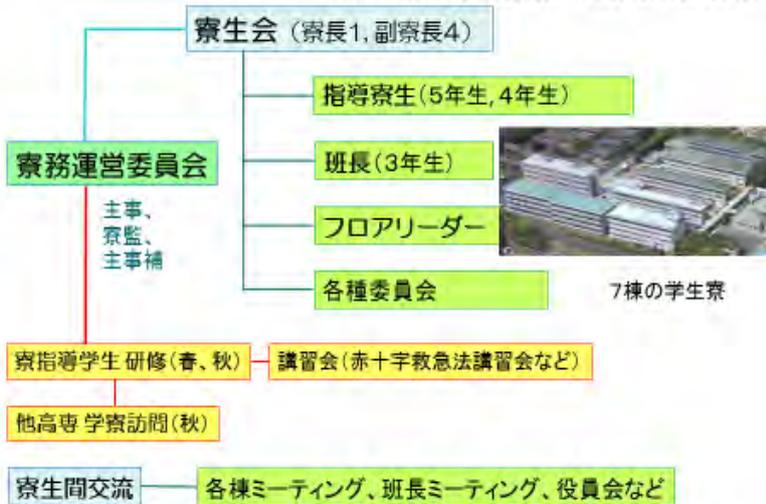
帰国後の学生は、学生会、寮生会、地域ボランティアで活躍

- 大学留学
- ドイツ国立アーヘン大学留学(本科5年生)
- 多読・多聴による英語教育改善の全学展開

学生寮の指導体制 寮生数 613人(女子105人,留9人)H27/4/1

低学年寮生(1年205(34), 2年156(26))

高学年寮生(3年115(19), 4年82(17), 5年55(9))



日本技術者教育認定機構JABEE



平成16年度から認定、27年度同時受審

それから、JABEEですが、

され

課外活動

■ 毎日午後4時30分から6時30分まで



2012国際ロボカップベスト3位、日本学生支援機構優秀学生顕彰学術部門で大賞、全日本学生ドイツ語弁論大会ドイツ学術交流会賞、プログラミングコンテスト特別賞、住宅設計コンクール優秀賞、日本学生陸上競技対校選手権大会男子400m第4位

卒業後の進路

■ 約半数が進学／約半数が就職

- 進学・就職先で高い評価
- 21倍ほどの求人状況

■ 就職

- 多くが全国的に有名な一流企業や官公庁
- 希望者のほとんどが現役で就職

■ 進学

- 国公立大学の3年生へ編入学
- 国立高専の専攻科へ入学
- 希望者のほとんどが現役で合格
- 試験科目は専門科目、理数科目、英語など

進学

■ 過去5年間の大学・専攻科進学者数

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	合計
徳田高専専攻科	30	26	28	29	30	20	163
横濱国立大学	21	21	28	13	21	19	123
長岡技術科学大学	1	2	0	3	6	1	13
名古屋大学	4	0	6	2	7	3	22
名古屋工業大学	2	5	3	4	3	6	23
岐阜大学	7	6	5	6	3	2	29
三重大学	6	5	2	5	3	1	22
筑波大学	3	1	3	3	4	0	14
東京工業大学	4	2	2	0	0	0	8
京都大学	1	2	1	1	1	0	6
電気通信大学	0	2	2	2	0	1	7
法政大学	0	2	0	1	2	1	6
東京大学	1	1	0	2	0	0	4
神岡大学	1	0	1	0	1	0	3
その他	22	19	21	21	29	17	129
合計	103	94	102	92	110	71	572

課題:

- ◎ 運営交付金の減少
平成23年度比で、4700万円減
- ◎ 若手教員の大学への流出
- ◎ 設備更新の遅れ
浴棟、グラウンド、図書館など
- ◎ 教員負担軽減、高専教育
- ◎ 研究取り組みの為の環境整備

高専全体について

高専の制度・組織・教育などの見直し

- ❖ 新たな高専像、7年一貫教育、高専間共同化の検討
職業教育のための新たな高等教育機関との関係
- ❖ 志願者確保と各高専の特徴
定員が確保できない高専:北海道地区、東北など
研究面での高専の特徴:各高専の得意な分野
- ❖ モデルコアカリキュラムの導入
高専生として身につけるべき共通到達目標の基準化

3

で
い

提出

や を

なるという3つのタ

の まで

いった

なか

例では

は 送りますが、生活を送ると、
こ 指導が難しい いると

運営諮問委員会 評価項目『国際交流』

日時：平成28年1月28日(木)

異文化理解に基づく持続可能な長期海外留学

ーグローバル社会・多文化共生社会の中で生き残るためにー

吉岡貴芳 (豊田高専 国際交流委員会 委員長)



ロンドン、ビッグベン。エリザベス、タワーに到着



ヒラタリー・サー・ワズ。『東京広告』北澤君に注目！

本校は長期海外留学・異文化理解活動が盛んな学校です。毎年、AFS・YFUによる

長期海外留学(休学留学)の目的・意義

◆AFS・YFUの理念に従い、異文化理解と国際理解に重点を置く。語学留学ではない。

◆異文化(言語・民族・宗教・歴史など)に触れることにより、アイデンティティの確立を目指すと共に、全ての個人、全ての文化には其々の尊厳と価値があることを体得させる。

◆海外留学は偏見や差別を持たない国際性あふれる技術者養成・人間形成に大いに繋がると考える。

コミュニケーション能力のある人間、折れない強い人間、リーダーシップをとることができる人間

長期海外留学成功の秘訣は、異文化を面白いと感じ楽しむこと
便利な生活に慣れた日本人にとって異文化は「不便・不自由・不親切」なもの
(水、列車、トイレなど)ローテク

ア活動の中心

AFS・YFUとは

- 公益財団法人AFS 日本協会
 - 理念: 平和と相互理解の推進、責任ある地球市民の育成
- 公益財団法人 YFU 日本国際交流財団
 - 理念: 豊かな人間性を育む異文化生活体験

*試験内容: [筆記] 英語 90分(英検2級相当)、一般教養 30分
[日本語面接] 個人15分程度(10ヶ月のHSIに耐えられるか)

*プログラム参加費: 150万円(近年増額)、選考手数料: 約20,000円
(奨学金: 盛田財団、市区町村、トビタテ留学JAPANなど)

- 1、2年生の夏に受験 合格後、数回のオリエンテーション
 - 冬出発は、その年度の2月、3月に出発
 - 夏出発は、1年後の夏に出発

これまでのAFS・YFUによる 長期留学実績

- 留学者数: 651名(昭和57年～平成26年9月)
- 留学先 : 37ヶ国 ★全国随一の実績★

留学先の国は、お手元の資料をご覧ください

30年以上続いている持続可能な留学制度

			fl&+, L	fl, &L	
		fl(+L	fl&' L	fl% L	
		fl%) L	fl%&L	fl%(L	
fl%&L	fl%&L	fl%&L	fl%&L		fl- L
fl, L	fl, L	fl, L	fl, L	fl, L	fl+L
	fl) L	fl) L	fl) L	fl(L	fl) L
	fl(L	fl(L	fl' L	fl&L	fl' L
	fl' L	fl' L	fl&L	fl&L	fl&L
		fl&L			fl%L

その他 長期留学

- ドイツ国アーヘン大学との協定

%

4年生以上の高学年生対象
フレッシュマンプログラム(1年間の工学基礎教育、寮での協同生活)
- 本科4年生2名(平成24年環境都市工学科, 平成25年機械工学科)
- [条件]TOEIC 550点または英検2級以上、数学と物理のGPA制限
- [費用] 17,000ユーロ+航空運賃 = 約300万円
(学費、教材費、生活費、交通費等ほぼ全ての経費)

- ローターリー財団による派遣
 - 平成25年2名
 - スイス、カナダ

毎年約40名の学生が長期海外留学

平成23年度	37名
平成24年度	27名
平成25年度	53名
平成26年度	38名
平成27年度	32名



(写真中央はYFU短期米国交換留学生)

平成28年1月現在 在学生約1100名の内、留学経験学生 約100名

在学生の約10%、クラスの1/5が留学経験

ドイツ国立アーヘン大学フレッシュマンプログラム1年間の長期留学

- ・平成24年1名、平成25年1名（本科第4学年）

ロータリー財団による1年間の長期留学

- ・平成25年2名（スイス、カナダ）（本科第2学年）

その他短期留学

豊田市派遣イングランド・ダービシャー市英語研修（2週間）

- ・平成26年1名、平成27年1名（本科第2学年）

高専機構等主催海外企業インターンシップ等（4週間）

- ・平成25年1名、平成26年1名、平成27年2名（中国、マレーシア）（専攻科第1学年）

富山高専主催北アイルランドSouth Eastern Regional College英語研修（4週間）

- ・平成26年1名、平成27年2名（専攻科第1学年）

官民協働海外留学支援制度 トビタテ！留学JAPAN奨学金による短期留学（7週間）

- ・平成27年1名（タイ王国カセサート大学）（専攻科第1学年）「ロボカップサッカー世界チャンピオンチームであるSkubaとのロボット制御技術に関する共同研究」

派遣国の学歴に合わせた
教務上の配慮（成績の保管）

- ・ 1年間の休学のみで、長期留学（6年で卒業）

◆夏出発の場合：

- 6月の中間試験を受け、9月に留学へ出発。
- 帰国後（1年後）、残りの授業（14、15回目）を受講
- 9月に前期定期試験
- 1年前の中間試験を引継ぎ、成績を出す。

- ・ 平成27年度から学校カレンダー変更

- 夏休み前に前期定期試験
- 前期の成績確定し、9月に留学へ出発
- 帰国後、後学期から授業を再開する。

受験許可者数の適正化

- 受験許可者の選抜と制限: **各クラス10名(2年間)**
 - 留学帰国者のクラス編成の適正化
 - 受験申請者数の制限は無し
 - GPA成績による制限
 - 受験許可者≒合格者
- 留学直前の学業不振等に関する問題
 - 平成28年度より、**1年生は原則3名まで許可**
 - 生活習慣、学力、英語力等を考慮すれば、**3年生での留学が適切**

10

留学前・後の 学内オリエンテーション

- 留学前(全体)
 - 留学経験のある在学生、平成27年には卒業生による講演会
 - 浮ついた精神を落ち着かせ、現地でのトラブルを避ける
- 留学後(個別)
 - 海外留学体験レポート(A4 1枚)
 - 日本の生活習慣・学校の規則を、客観的に見る
 - "留学した直後のように、新たな異文化体験"

%

& &



文部科学省国費、マレーシア政府派遣等
による外国人留学生

留学の機会増加 短期留学

- 豊田市派遣
 - ダービシャー市との協定、豊田市の全高校(H26,27年度2年生各1名)
- 他高専主催
 - 英語キャンプ(シンガポールのポリテクニク) 2週間
本科生 H26:4名、H27:1名
 - 海外企業インターンシップ(中国、マレーシア等) 3~4週間
毎年 専攻科生1~2名
 - 北アイルランド英語研修(South Eastern Regional College) 1か月
毎年 専攻科生1~2名
- トビタテ留学JAPAN奨学金
 - タイ王国カセサート大学 H27:専攻科1年生 7週間

12

外国人留学生の生活

- ◆近年6年間の出身国（東南アジア、モンゴル）
マレーシア(11)、モンゴル(4)、ラオス(3)、カンボジア(2)、
ベトナム(2)、スリランカ(1)、バングラデシュ(1)
- ◆学生数の経年変化
平成22年11名、平成23年8名、平成24年8名、平成25年5名
平成26年6名、平成27年9名
- ◆学内での国際交流(学生・教員)
3年生は日本人チューターと寮の同室にて生活
日頃から日本文化を学ぶと同時に、協同・協調活動
- ◆外国人留学生の生活への配慮
イスラム教お祈りのためのシャワー室
ハラル料理を両食堂で提供可、自炊用食室にも配慮

外国人留学生の学習環境

- ◆日本語・日本事情という科目を国語教員が担当
日本の文化、風習、歴史の授業
- ◆重要な専門科目の特別開講や補習
- ◆年1回研修旅行での実体験
H25: 犬山城, H26: 富士山・箱根, H27: 熊野古道・伊勢神宮
- ◆東海地区高専外国人留学生交流会
乗鞍スキー実習、日本の風土体験

&

&*

&t

日本人学生との協同・協調

- 留学生とチューターとの懇談会(年6回)
 - 母国紹介等
- 文化祭での模擬店出店
- チューター・教職員バドミントン交流会(年7回)
- 国際理解・異文化理解活動での講演(本科2年生向け)
 - H24:マレーシア, H25:モンゴル, H26:ラオス, H27:モンゴル



今後の課題

◆前回報告での課題

「豊田市の多文化共生社会への還元のため、外国人留学生や海外留学経験者の力の活用」
という課題は、未達成

◆今後の課題

学内において、より多くの日本人学生と外国人留学生が
交流できる活動の構築

ご清聴有難うございました



今、子どもたちには、
将来、社会的・職業的に自立し、
社会の中で自分の役割を果たしな
がら、
自分らしい生き方を実現するた
めの力が求められています。

の5年の間は長いですから、1年生、2年生または3年生で考えていたことを5年生になった頃には忘れてしまうかもしれない。そういうものを綴ることによってポートフォリオを作ることがこのT-Fileです。学生にとっては自分のキャリアを実感できるとか、振り返ることでの気づきがメリットになります。学生だけではなく、教員や保護者にとっても、こういったものを使った指導・確認したり、連携したりするツールとして活用することが期待できます。

T(Toyota)-Fileとは何ですか？

- キャリア教育支援プログラムの内容を保存するためのファイル
- その時点での自分なりの思いを記入し、保存することで、卒業までにオリジナルのファイル（ポートフォリオ）に作り上げる



T-Fileを使うと何か良いことがありますか？

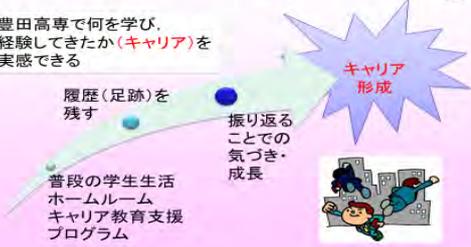
豊田高専で何を学び、経験してきたか(キャリア)を実感できる

履歴(足跡)を残す

普通の学生生活
ホームルーム
キャリア教育支援プログラム

振り返ることでの気づき・成長

キャリア形成



豊田工業高等専門学校・キャリア教育支援体制

学生の学校生活をサポート ← キャリア教育支援プログラム
指導教員、教科担当教員、課外活動等の教員、教職員間が連携し、主にHR・AG活動で系統立てて行う指導項目群

教務主事

教科担当教員

指導教員

学生主事

総務主事

課外活動等の教員

教職員...

寮務主事

学生

キャリア教育支援室：学生の現状および経年的な学生動向等を把握（分析）し、キャリア教育支援プログラムの企画、指導教員等に対し学生指導上の情報提供を行う
学生指導の質の向上 = 自主自立（律）のキャリア形成

1年生：学びの楽しさを知り、パーソナルゴールを設定

Age : 16

月	キャリア教育支援プログラム等
4月	・学生心得講座 ... 学生生活を送る心得を知る
5月	・将来イメージ講座 ... 専門学科について知る
6月	・合宿研修 ... 自分や他人を理解し、コミュニケーション能力を高める
7月	・特別講演「大切にしたい心と体」 ・学習環境確認講座 ... 定期試験を前に生活を振り返る
11月	・スキルアップ講座 ... 先輩の話・資格試験について知る ・学生生活振り返り講座 ... 1年を振り返る

合宿研修





合宿研修

目的

コミュニケーションスキルの基礎をつくる
 ◎アサーティブコミュニケーション
 ◎共同作業によるクラス目標の作成

内容

学校を離れて1泊2日の合宿を行い、共同生活の中で講演会、スポーツ活動、クラス目標の作成研修を行う



合宿研修



2年生： 将来を見つめ、具体的な目標を見出し、自己研鑽

Age : 17

キャリア教育支援プログラム等

4月	・目標設定・確認講座 …… 1年次を振り返り、目標を立てる ・特別講演 …… インターネットの危険
6月	・今の私・卒業後の私① …… 先輩の話聞き、将来をイメージ
11月	・人間力講演会 …… 社会人の方の講話
12月	・国際理解・異文化理解講座 …… 外国人留学生の母国紹介
1月	・今の私・卒業後の私② …… 職業興味調査



今の私・卒業後の私①



今の私・卒業後の私①

目的

◎就職活動を終えた先輩の話聞き、自らの将来を考えていきかけをつくる

◎進路状況の紹介、能力検定、資格の提示をして目標設定の助けとする

内容

各クラスルームで先生と先輩の話聞く



3年生：社会との関わりを学ぶーキャリアプランの作成ー

Age : 18

キャリア教育支援プログラム等	
4月	・目標設定・確認講座 … Tファイルを活用して履歴書を作成してみよう
5月	・特別講演 社会が求める人材
6月	・今の私・卒業後の私③ … 就職・進学先調査開始 発表は7月
11月	・同窓会主催卒業生講演会 … 卒業生の方の講話 ・キャリアプランニング … 卒業生の話を聴講し進路を考える
10月	・社会における人間関係講演会 … 各種ハラスメントについて
1月	・進路選択講座 … 社会が求める人材 先輩達の就職先・進学先について



4年生：夢の実現への過程ーキャリアプランの実行ー

Age : 19

キャリア教育支援プログラム等	
4月	・目標設定・確認講座 … 振り返りと目標の確認
7月	・ビジネスマナー講演会 … 校外実習に向けての「ビジネスマナー」全体講習会(外部講師)
9・10月	・校外実習報告会
11月	・同窓会主催卒業生講演会 … 卒業生の方の講話 ・キャリアプランニング … 卒業生の話を聴講し進路を考える
12月	・企業へのエントリー講座 … 「履歴書の書き方」全体講習会
1月	・企業へのエントリー講座 … 「履歴書の作成と添削」希望制 … 同窓会主催「模擬面接」 … 「メイクとヘアスタイル」 ・SPIガイダンス
3月	・同窓生による模擬面接講座 … 卒業生が面接官となり 模擬面接を行う

ビジネスマナー講座



ビジネスマナー講座



しごとガイダンス



同窓生による模擬面接講座



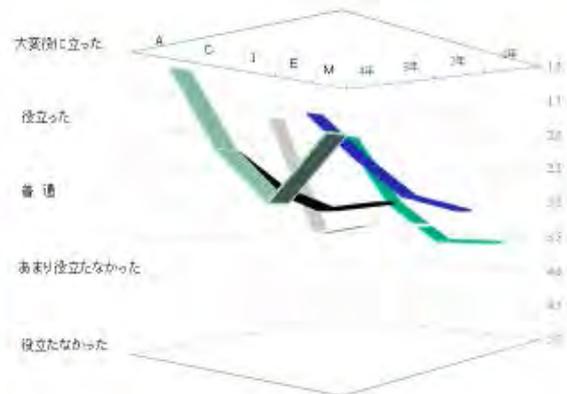
5年生 夢の実現—キャリアプランの実現—

Age : 20



キャリア教育支援プログラム等	
9月以降	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人準備講演会 … 「はたらく自分を想像しよう」(外部講師) ・キャリアプランニング … 社会人準備講演会を聴講し、社会での働き方を考える ・特別講演会 … 「労働法について」(外部講師)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・裁判所見学会(クラス別) ・卒業研究発表会(中間発表、最終発表)

キャリア教育支援プログラム5学年アンケート



- 本校では、5学科すべてが、
- それぞれの専門分野においてJABEE認定審査を受けており、
- 認定基準を満たした「学士課程教育プログラム」を学科ごとにもっている。

教育プログラム名	学科・専攻科	認定開始
機械工学プログラム	機械工学科, 電子機械工学専攻	2005年度
電気・電子システム工学プログラム	電気・電子システム工学科, 電子機械工学専攻	2004年度
情報科学	情報工学科, 情報科学専攻	2005年度
環境都市工学プログラム	環境都市工学科, 建設工学専攻	2004年度
建築学プログラム	建築学科, 建設工学専攻	2006年度

に学科別に審査を受けているのは、

あるくらい 認定
のうち、 プログラム

をまとめて1つのプログラムとして受ける「工学（融合複合・新領域）関連分野」です。

しかし、我々は、各学科が各専門分野で個別に受けております。ここに、官報号外第128号（平成27年6月8日）、

「技術士1次試験合格と同等とされる教育課程と対応する技術部門」という資料があります。JABEE修了者は技術士の一次試験が免除されるということで官

- 全国の国立高専の中でもめずらしい。
- 本校の他には、香川高専（高松キャンパス）・久留米高専・沖縄高専など数える程しかない。
- 多くの高専が、全学科の教育課程をまとめて「工学（融合複合・新領域）関連分野」で認定を受けていることがわかる。

認定分野名	認定プログラム数
応用および科学関連分野（応用化学コース）	4
機械および機械関連分野	4
材料および材料関連分野	2
情報および情報関連分野	3
電気・電子・情報通信およびその関連分野	9
土木および土木関連分野	4
工学（融合複合・新領域）関連分野	42
建築学および建築学関連分野	3
経営工学関連分野	1
生物工学および生物工学関連分野	1

- 本校の教育課程の修了者は、「各人の専門分野」と「技術士の技術分野」との整合性がとれており、
- 術士試験の面からもJABEE認定を受けていることの意義が大きい。

大学その他の教育機関における課程		修了年月	技術部門
曹田工業高等専門学校	専攻科電子機械工学専攻電気・電子システム工学プログラム	平成17年3月	電気電子部門
	専攻科建設工学専攻環境都市工学プログラム		建設部門
	専攻科電子機械工学専攻機械工学プログラム		機械部門
	専攻科情報科学専攻情報科学	平成18年3月	情報工学部門
鈴鹿工業高等専門学校	専攻科建設工学専攻建築学プログラム	平成19年3月	建設部門
	専攻科複合型生産システム工学	平成18年3月	応用理学部門
舞鶴工業高等専門学校	専攻科生産・情報基礎工学	平成17年3月	応用理学部門
明石工業高等専門学校	専攻科共生システム工学	平成16年3月	応用理学部門
奈良工業高等専門学校	専攻科システム創成工学	平成18年3月	応用理学部門
和歌山工業高等専門学校	専攻科地域環境デザイン工学	平成19年3月	応用理学部門

ただし、
の準備段階に差がありましたの

各学科で
しかし 全学科

ることができ

ることができ

また、同時受審に向けて、

受審準備を

認定審査では、まず

り その後

日・10日と3日間に渡って実施されました。

届

き、全プログラムとも6年という最長の認定を受けることができました。

的な結果は
が、

- 書類審査に続き実施された実地審査（昨年11月8日～10日）も終わり、
- 先日、**1次審査報告書**が送られてきた。
- 5プログラムとも、**最長の「6年間の認定」**を受けることができる予定。

二 「
」です。

「 」と

いう話ですが、背景として

教育プログラム名	1次審査結果
機械工学プログラム	6年認定
電気・電子システム工学プログラム	6年認定
情報科学	6年認定
環境都市工学プログラム	6年認定
建築学プログラム	6年認定

fi

上

の

ーズにできるのではないかと

小論文

それに

と合わせて

たまま、「新たな

よび そこでは、 でのよう

に という手続きが省かれます 度

レベル

ことです。また、

科目 て、そ

の「 」と「 」 するのですが な長文の

必要なく、 うもの

行い学位審査会の審査を受けました。その結果、電気電子、土木、建築、

2014年度入学生、すなわち今年度修了する学生から新たな審査方式による学位授与が認められました。

また、機械工学区分についても今年度追加申請を行い認められました。2016年度入学生より特例適用が認められることになりました。

目

は で、

す。それから寄付金、共同研究、豊田市との委託研究、豊田市のまちづくり

・本校専攻科では、昨年度に「特例の適用認定の申出」を行い、学位審査会の審査を受けた。

- ・その結果、
 - 電子機械工学専攻（電気電子工学区分）
 - 建設工学専攻（土木工学区分）
 - 建設工学専攻（建築学区分）
 - 情報科学専攻（情報工学区分）については

・2014年度入学生から「新たな審査方式による学位授与申請」が認められた。

- ・電子機械工学専攻（機械工学区分）についても、今年度、追加申請を行い、
- ・2016年度入学生より認められることになった。

・今年度（12月末日時点）における外部資金の獲得状況を以下に示す。

1. 科学研究費助成事業：30件(新規11件) 37,983千円
2. 連携事業負担金：2件(豊田市・豊田商工会議所) 15,000千円
3. 寄附金：15件 13,900千円
4. 共同研究：7件 3,914千円
5. 委託研究：1件（豊田市） 810千円
6. まちづくり事業：1件（豊田市） 891千円

■ 合計 56件 72,495 千円

があります。それより

わかり

12月末日時点で、

1

学校

のデータはため

次に、とよたイノベーションセンターと言う組織の紹介をします。

で

他が63件という具合に他高専が及ば

ない圧倒的な件数になっています。

当センターの事業として

fl l

はこのようになっています。

受講者はあまり多いと効果が薄れますので、20名から10数名ぐらいです。

講座の一つは、修了率が凄く高いことです。途中でリタイヤする人が非常に少ない、ほぼ全員が、修了しています。講師の多くは、本校の教員が務めております。夕方5時から8時までかなりの負担にはなりますが、この講座を毎年続けています。製造技術者向けですので、機械系と電気・情報系が主になります。理論だけではなく、実際に実

講座名	受講者数	修了者数	講師
機械製図の基礎 (1回目)	20	18	本校教員
機械製図の基礎 (2回目)	18	18	本校教員
生産設備制御・ 保全技術	20	20	本校教員 (一部企業)
電気・電子回路と センサーの基礎	13	(開講中)	本校教員 (一部企業)
金属加工・計測評価 技術	15	(開講中)	企業・公設試 (一部本校職員)
合計	86	(未確定)	

てもらおうというになっ

受講者に向き合っています。さらに、

です

を企画しま

と

いう内容の講座です

場リーダーを育てたいとの現場の要

望に応じてやっています。それ以外にも講演会・セミナーもたくさんやっています。分野も多岐に渡ります。技術系からマーケティング，税制，補助金の取り方まで幅広いセミナーを行っております。

セミナーの題目	参加者数
開設3周年記念セミナー：日本国内でものづくりをする	156
ウルトラハイテン・プレス成形性向上技術	28
「売れる」を創る商品開発	24
設備投資税制セミナー	7
利益を創出する現場改善と保全	18
補助金活用セミナー	(2月開催)

今年度は、ここに示す を

今年度は

記念

ました。このことから、

のか

の

か わかり

こう

について



企業の受講生は1年間

の苦勞は

も

こ

このプロジェクトは、中央教育審議会の特別部会において高専の実践的な教育事例として取り上げられています。いろいろなところで注目を浴びております。チームで議論し、アイデアをまとめ、設計や加工をし、設備に組み

上げていきます。 の過程で必ず を それにより実践的な っています
きます

の は、 します。
になっています りま という記事

それから「ドミタウン」、これは寮生が中心になって行った新しい取り組みです。山間部の活性化を目指しています。



体験合宿を2回に渡って行いました。使っていなかった畑も耕して「ドミタウンみんなの畑」というものをつくって農業体験するだとか、寮の仕組みを取り入れて、新しいと名付け

日常で

を
し

キャッチフレーズで



で小型家電のどの辺がいいかを選び、一生懸命ばらして薬品につけて金を取りだす、そのような体験講座です。

さらに

また、

者

であり、

ここに



行い、喜んでもらえ
で実施している
もあります。

施しました

テーマで実
ています。



介します。

になります
と連携して実施し

紹



かなり
多くの
方が見学に来ます。

コンテストでは、

方にも審査いただいています。デンソーの方にも技術的な評価をしてもらっています。
これは、表彰式の様子です。

は だ 次に,

何か
すから
事だ 生 始めて

,
も 行って
ば ども

です 持って,
が

第一線で働けないんだ。」ということをよ
在学中にどれだけより実社会に合うよ

に

,
れ で,

資格を
いただけると企業としては非常にありがたいと思います。

今後も

どうもありがとうございました。

いものではなく、

広く教育後援会のお金が使えたらいいかなと思っています。今度の土曜日に、来年度の予算の打合せがありますけど、学校側から教育後援会のほうに今までどおりの課外活動だけじゃあなくて、あちらこちらからのご要望いただけたらいいじゃないかなと思っています。

以上です。

【新美委員長】

ありがたいお話であるように聞こえましたがいかがでしょうか。

【塚本教務主事】

T Aについては、1年生と2年生は数学と物理の補習をやっているんですけど、数学についてはT Aの学生を後援会費用で雇わせていただいて、それでそこに学生が行って学習を教えているということはやっています。留学生は国費で負担しています。あと薄く広く使いたいということであれば、私の記憶では2年生のスキー合宿とか3年生の交通安全研修とかの補助が、以前より少なくなっていたと思います。1年から3年のそれぞれの合宿があり、全学生が参加するので、それに補助していただくといいかなと思います。

【鈴木（律）委員】

平成28年度、来年度の予算で「値上げした会費の使い道はどうなんだ。」という会員の皆様の声に、できるだけお答えできるように今検討しているところです。本当に交通安全研修はとっても大切だと思うので、私個人としてはもっと補助したいのですが、結構な費用がかかりますよね。

【塚本教務主事】

実は今までは、1泊2日で鈴鹿サーキットでやっていたんですが、来年度からはお金を節約しようと岡崎市内で実施することとなっています。

【鈴木（律）委員】

教育後援会のほうから、もっとお金が出せましたら、また鈴鹿でということもありませんか。

【高井校長】

鈴鹿の講習にお金がかかっている主な理由はホテル代なんです。ホテル代に結構な額を払うんだったら、実をとったほうがいいんじゃないかということがあって、岡崎の自動車学校でも同じような講習をしてくれるというところがあって、そこで、日帰りで一回やってみようかという話になっています。あれは私も体験しましたが、なかなか普通の状況では体験できないような運転技術というのを体験できますので、学生も貴重な体験をすることが必要だと思います。ああいうのをやったきっかけは、ある時期に交通事故で亡くなる学生が複数でまして、それではいかんということで始まって、それ以来いわゆる交通事故で死亡するケースが出ていない。そういう意味では有効なイベントだと言えます。

【中山委員】

同窓会長の中山です。今の説明を聞いておって、私が在校していたころは、ほぼ何もなくてほったらかしであったような気がします。それから思うと本当に今の先生は大変だな

と思います。1年生からプログラムがあって私は建築であったものですから、建築でいうと高専の5年間、まあ多分大学を出てもそうなんですが、それで即戦力は、ほぼ無理ですね。実際には、僕らは現場でいろんなものを数多く経験して、お客さんとも実際には数多く接して、それでスキルが上がっていくということが多く、どうしても対物とかではないものですから、難しいのかなと思います。

それでも高専の卒業生というのは、僕の会社の友達の人でも、「どんな落ちこぼれでもいいからくれ、とにかく就職の先生を紹介してくれ。」と言われて、昔その人を連れて機械工学科の先生に会ってもらったりしたこともあります。「何でそんなに気に入ってもらえるんだろう。」と思うと、高専生は真面目なんです。今ちょっと来て、そこらへんをうろろしていても、顔を会すと学生が、「こんにちは」と挨拶があるんですよね。そんな学校はありません。必ずと言っていいほど会う学生は挨拶をしてくれますね。それから僕が学生のときも、寮にいましたね。大体1年生の時に2年生とセットで寮に入っていて、ほぼ2年生に夜になるとラーメンを作ってこいと言われてラーメンを作らされた思い出があるんですけども、それでもいじめはなかったです。いじめとかで寮なんかにはおたくはないとか、そういうふうにはならなかったです。多分、今も高専にはいじめはないんだろうなと思います。もし、いじめがあったのなら24時間ずっと一緒ですから、とてもじゃないけど、生活はできないであろうなと思います。また、途中で進路を変える人があるという話がでていましたけれど、実は私が現役のころも、3年生になると皆が受験勉強を始めるんですね。同級生が高校生で、それぞれ好きな大学へ行こうと思って頑張りますので、ちょっと、のほほんとしているぼくらは焦ったりするんです。わりと大学へ行こうと進路を変える人もいました。留年は僕らの頃は、40人のクラスのうち大体10人ぐらい。上の学年から10人ぐらい落ちてきて、ですから大体いつも僕らのクラスは同じような人数になっていました。その時、寮の先輩が先輩から急に同級生になるんですけど、卒業してもその時ラーメンを作らされた先輩が、いまでも仲よくというのが結構あるんです。ほとんどその時の僕らの先輩の留年というのは、製図を出さんかったとかであったんです。僕も毎年、留年の心配をしながらなんとか卒業することができたんですけど、留年自体がそもそもそんなに悪いことでもないんじゃないかなと思ったりしています。そのまま卒業できればそのほうがいいんだろうと思いますけれど、とにかく人ですよ。人をちゃんと基本的に素直に真面目に育ててくれれば、後はなんとかなっていくんだなあと個人的には思っております。とりとめのない話ですいません。

【新美委員長】

ありがとうございました。ご意見等に対して他に何かありませんでしょうか。

【高井校長】

高専の学生は今おっしゃられたとおり、おしなべて純粋培養なんです。ここにいるとほとんど全部生活ができてしまうんですよ。特に寮にいれば。いい意味では、そういう真面目な学生が多いし、友達の関係も寮の中でもできるし、クラブ中でもできるし、結束は非

常に強いですね。もう一つ最近私の友人から聞いた話の中に、高専生はすごく真面目なんだけど社会に対する耐性がないと言うんですね。要はあまり苦勞をしらない。大学とか、高専に来ていない子達を見ると、いろんなことで遊んだり、いろいろなことをやっています、社会経験が結構ある。ですから就職した時に、そこらへんでいい意味でも悪い意味でも高専生だよねという話がある。最近うちの学生達にいろんな意味で多様性を身につける必要があるんじゃないかと、先ほどのドミタウンですが、ドミトリーでタウンという造語なんですけど、寮でいろんな経験をしたのを社会に貢献する。そうするとそこには現地の老人の方達との交流もあり、小学生との交流もあるし、いろんな意味で多様性を学ぶ機会があり、非常にいいじゃないかなあと思います。両方必要かなあと思いましたね。

【中山委員】

そういう意味で僕の友達なんかで、社会でたくましくやっている人は、ほぼ留年した学生ばかりですね。授業をせずにマージャンばかりやっていたという人が非常に多いですね。

【新美委員長】

ありがとうございました。他に意見はありませんか。

【藤井委員】

意見というとおこがましいですので、感想になります。本当に幅広くいろんな分野でチャレンジして見えるなあということを感じました。私も同じ校長ですので、高井先生と同じ学校経営を考えた時に本当にいろんなことにチャレンジしてみえ、チャレンジ精神は素晴らしいなど、校長学として学ばせていただきました。ありがとうございました。

やっぱりこの特徴というのは人づくりで行くと、寮生活というすごく大きなインパクトがある。重みがあることなんだろうなあと思っています。我々も文部科学省から出ているまさに「生きる力」、自ら学ぶ、自ら考える、主体的に判断し行動するという、自主自立ですね。それがここで養われているし、寮生活においてはそれがまさに一番必要だし、実践する内容だなあと感じました。

先ほど希望する子にはとありましたが、最低でも全寮制のような1・2年間でもいいので何かそういう生活が必要ではないかと思っています。これはどういうことかと申しますと、今遊んだ方がどうのこうのという話がありました。自分たちも大学の頃を考えた時に、すごくいろんなところで友達と飲みながら学校を離れた場で話をしました。それが社会人となったときに生きてくる。ということが凄くあるんですね。今、世代交代が騒がれていますので、どんどん辞めていく。とにかく上の世代がどんどん代わっていくんですね。そうすると若い世代が経験もなくして、いろんな立場を担っていかなければならない時代がもうすぐ来ているんです。それで力量向上ということが校長会の中でも話題になっています。各学校においてどのような力量向上のための職員育成をしていますかということ。を班別研修でやっています。それで、私も職員に対していろんなことを皆さんに経験させるからと言ったときに、ある若者が嬉しいことを計画してくれたんです。「夜の力量向上講座」です。「校長先生、来てもらって話をしてください。」と言うんです。実は飲み会

なんですね。嬉しかったですね。若門の20代30代が、みんな来て話をしてくれました。「最後に先生一言話をしてください。」と言われた時に何を話したかと言うと、「僕を呼んでくれることを凄く嬉しい。だけど貴方達だけで夜の会をもっと持てるならもちなさい。」と言ったのです。学校の中だけで友達と接しているのではなくて、学校を離れた場で、別に飲まなくてもいいんですが、学校を離れた場で思っていたことや、悩みだとか、もっと打ち明けて、先輩から学ぶということを職場内ではなくて離れたところでやって欲しい。みんなこそ定期的に、毎月の第4金曜日、来られなくてもいいじゃないか、でもそれはいつも集まる会だよということをやっちゃおうよというようなことを言ったんです。そういったところからも、なかなか自分で学ぶということになるとすごく制限があるものですから、ちょっと集まれる人が集まればいいと。同じように、やはりコミュニケーションがなかなかとれない時代だからこそ、こういう寮生活、これという価値を凄く感じました。是非とも希望ですが、強制にするということとはなかなか難しい部分があるのですが、こういう自分たちだけで生活して、そこから築くことが凄くあると思いますので、これをもっと発展させていただけるようなそんなふうにするといいのかなと思いました。それから、小学生・中学生を対象とした講座を一杯持っていていただき本当にありがたいです。ただ、一つやれるならば、中学生を対象とした講座を新たに立ち上げるよりも、小学生を対象にした講座のほうが僕は効果があるのかなと思うのです。中学生はなかなか部活等があっても忙しいです。中学校に化学部とか、そういった部がある子たちは、そういうことがあってもすぐにチャレンジしていくと思うんですが、そうじゃなくて一からのスタート、新しいことを開拓しようと思う講座であると、中学生は中々出る機会が難しいものがある。小学生の時に、そういったことに経験を持って関心を持っている子達であるならば、中学校が忙しい時でもやってみようかなと一歩踏み出すでしょうが、新たに中学生を開拓しようとするのは難しいものがあります。さっきもドミタウンのようなものは本当に価値あるものだなと思いますので、小学生を対象としたそういったものも、今後やっていただけると嬉しいのかなと思いました。感想になりましたけれども、ありがとうございました。

【新美委員長】

どうもありがとうございました。それでは他にご意見等はありませんでしょうか。

【幸村委員】

副市長の幸村でございます。先ほどこの学校のいろんな取組等についてお聞かせいただき、本当に丁寧にいろんな指導をされていることで感心いたしましたところであります。私も工学部の出なんですけれど、ほったらかしで高校、大学と出ましたんでちょっとびっくりしたんです。こういう教育を受けておればもっと人生も変わったかなあと、それぐらい思いました。市役所の職員にも高専出身の方がいらっしゃいます。部長級の方もいらっしゃいますが、現在高専OBの人が60～70名ぐらい見え、かなりの方が役職について見えて、いろんな分野で活躍していただいております。そういう意味では、市役所の中では役に立つ方が多いと思っておりますので、こういったいろいろな指導等があったることなの

かなと思っております。高専の人の特徴として、寮で生活して見えたということがありますので、縦割りの関係というのは結構慣れている。強い反面自分で自由にやるということが逆に苦手という縦の関係で生活してきたことに、いい意味と悪い意味があるのかなと思いました。取組の中で、豊田市は大学連携ということをいろんな分野で、積極的に取り組んでいますので、特にものづくりの街ということで、高専とは、とよたイノベーションセンターとかいろんな形で連携させていただいています。そういった意味では豊田高専の特徴を持っていろんな形で市政にもご貢献いただいていますので、今後もそういった面においては、連携の方をよろしく願いいたします。あと最初に国際交流、国際理解みたいな活動の話がありましたけれど、ご承知のように豊田市は昨年1月に環境先進都市国際会議というのをやらせていただきましたし、2019年のラグビーワールドカップ、うまくいけば2020年のオリンピックサッカーの会場、ここらあたりが決まると益々国際化を進めるということで主として積極的に取り組んでいくつもりでございます。そういった中で、多くの方にボランティアとかそういった方を養成していかなければいけない。という風に思っておりますので、このように海外へ行かれた方、留学した方がたくさん見える、あるいは海外からもここへ来て見えるという方が多いわけで、そういった資源をボランティアなりいろんな形で豊田市の国際化にまたご協力いただけると大変嬉しいなと思っております。そんな面でのこれからもまた豊田高専との連携に、是非とも何らかのご協力がいただけたらとお願いしたいと思っております。以上です。

【新美委員長】

どうもありがとうございました。最後に私の方から意見をお伝えしたいと思っております。大学からの立場でお話をさせていただきたいと思っております。ある意味カルチャーショックを受けまして、我々大学の方では何もしていないなというように感じております。まず、国際交流につきまして、毎年30名以上の学生さんを送り出しているということは非常に驚くべき数字だと思います。大学の方では就職活動が毎年早くなってきました、3年生ぐらいから就職活動をしております、「海外に行っている場合なんかじゃない。」と学生が言います、なかなか学生は海外へ行かない。そういうところで、5年の教育の中で若いうちに海外に行くというのは非常にいい経験になっているんだろうなと思っております。多分帰国してきた学生達の声が、今日ご紹介がなかったのですが、かなり変わって帰ってくるのではないかと思います。我々の大学でも短期で1ヶ月ぐらい行かせただけでも、凄く変わってきますので早いうちに行くことは非常にいい経験になっているんだろうなと思っております。

それからキャリア教育支援についても、非常にきめ細やかな教育がなされておりました、大学ではこんなきめ細かくやっておりますので本当にこの辺は頭が下がる思いでした。

それからJABEEにつきましても、名古屋大学工学部でも以前やっておりましたが、全てやめておりました、建築、土木だけが続けてやっているだけです。5件同時に継続認定されたということは非常に驚いています。非常に準備がたいへんだと聞いておりますので、5件同時はさぞ大変であったんだろうなと思っております。

産学連携，とよたイノベーションセンターのあたりも非常に活発に活動されていて地域貢献も学生を巻き込んで活動されており，非常に素晴らしい取り組みだと感じております。

予定の時間も過ぎておりまして，委員長として総括を行わなければいけないのですが，委員の先生からいろいろなご意見を伺いましたけれども，3つの課題とも非常に高い評価を委員の皆様からいただいたと思います。特に豊田市がものづくり産業の集積地の中で，やはり豊田高専の役割というものは非常に大きいだろうと思っておりますし，今後もこの課題のみならず，いろんな取組みを継続してやっていっていただければと思います。ただ，これすべてやられるのは，先生方大変なんだろうなと思ってまして，研究の方は皆さん大丈夫なのかなと，ちょっと心配になりました。科研費なんかも頑張っただけで先生方は獲得されていて，高専の中ではトップクラスということで，その辺も素晴らしいなと思っております。今度は是非研究の方も聞かせたいと思います。これを持ちまして私の総括とさせていただきます。それでは委員の皆様よろしいでしょうか。では，締めさせていただきます。ありがとうございました。

【高井校長】

予定の時間を私が始めに長く話したということで過ぎてしまいましたが，本日はいろいろ高専のご紹介をさせていただいて貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。おそらくどの高専でも同じような活動はしておりますが，高専の数は増えてませんし，定員も増えてません。ずっと横ばいなんです。ということは結局いろんな活動をしているけれど，我々の努力が足りなくて世の中にもっとPRすべきじゃないか。もうちょっとよく知ってもらおう。我々はこんなことをやっているんだということを良く知ってもらおう必要があるのかなと思います。今，国の方は高専を支援する議員連盟というものを，そういう名前ではないんですが，高専を考える議員連盟というのができてますし，文部科学省の方もいろいろ審議しています。そういう意味でいろんな環境が変わりつつあるんですけれども，高専というのは地域に立脚して，当初の目的通り地域との連携を深めつつ，新しい時代の流れに即応していくということが求められ，今後も豊田高専，教育後援会，同窓会これは，比較的内輪なんですけれども，この地方の企業，豊田市さん，あるいは近隣の大学，名古屋大学を含めて是非ともに教育研究及び実際の仕事を含めて協力させていただければ幸いに思います。特に最後に，新美先生が研究大丈夫かなとおっしゃったのを実は心配しております。高専の方はどちらかというと個人プレーなんです。大学ですと大講座になっているけれども，昔の小講座的なところがあって教授がいて，准教授がいて，それぞれのところにドクターの学生がいて，ある程度まとまって研究をしている。ところが高専はそれぞれの先生が独り立ちをしていて，その先生が一つの分野を持っているということになっていて，なかなか教育と研究を両立させることに苦心されています。地域の大学の先生方と共同研究を通じて，もう少し深くお付き合いができるといいなあと思いますので，今後ともよろしくお願ひします。

また，崇化館中学校はすぐお隣ですので，是非また先生方，中学生の皆さんを含めておい

でいただけるとありがたいです。ということで、豊田高専は今日実施しました委員会を、次回も2年後となるのでしょうか。国際交流の方から、こうしたらというようなお話をいただきましたが、2年後がどうなるかわかりませんが優秀な技術者を世の中に送るという意味では努力を続けたいと思いますので、よろしくお願いします。今日はどうもありがとうございました。

【総務課長】

以上をもちまして平成27年度豊田工業高等専門学校運営諮問委員会を終了します。議事内容につきましては、後日送付させていただきますので、ご確認いただけますようお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

豊田工業高等専門学校
「自己点検・評価並びに運営諮問委員会報告書」 No.1

平成28年10月 発行

発行 豊田工業高等専門学校
〒471-8525
愛知県豊田市栄生町2-1
TEL (0565)36-5905